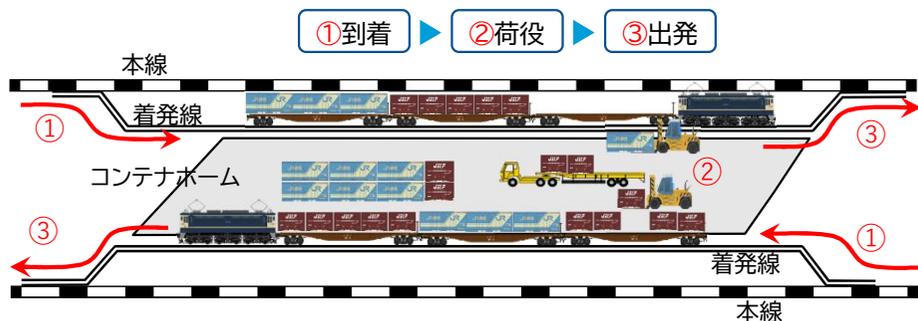


## ●新貨物ターミナルの荷役方式(E&S方式)

新貨物ターミナルは、列車が着発線に到着したらその場で荷役(コンテナの積卸ろし)を行うため、従来に比べ、貨車の開放や入替、再連結の作業がなく、効率的です。



## ●貨物駅の歴史とこれから

沼津の鉄道貨物輸送の歴史は、明治20年に東海道本線の箱根越え区間を敷設するため、現在の港大橋付近に水揚げした建設資材を、工事拠点とされた現在の沼津駅周辺まで蛇松線で鉄道輸送したことが始まりです。

その後、戦後の経済の発展とともに沼津駅での貨物取扱量が増大したため、昭和43年、沼津駅の約1km西側に事務所やコンテナホーム等の荷役施設を新設し、現在に至ります。

新貨物ターミナル完成後、現在の貨物駅機能の跡地は、高架化するための鉄道用地や道路の用地、開発可能な宅地等に生まれ変わります。事務所や荷役施設の跡地は、防災機能を備えた公園として整備する方針で検討していきます。



現沼津貨物駅

### 鉄道貨物輸送の特徴

#### 【環境特性】

鉄道貨物輸送のCO2排出量は、営業用トラックの約11分の1です。



鉄道輸送を利用し一定の基準を満たしている環境にやさしい企業や商品には「エコレールマーク」が認定されています。

#### 【労働生産性】

コンテナ輸送では、最大でコンテナ車26両が連結可能であり、10トントラック65台分の荷物を一度に輸送することができます。

出典：JR貨物グループレポート2022

#### 《お問い合わせ先》

静岡県沼津土木事務所 都市計画課 〒410-0055 静岡県沼津市高島本町1-3 TEL 055-920-2222  
沼津市沼津駅周辺整備部 推進課 〒410-8601 静岡県沼津市御幸町16-1 TEL 055-934-4768



沼津駅付近連続立体交差事業のホームページは、こちらからご覧ください

令和6年3月

## ～沼津駅付近連続立体交差事業～ 新貨物ターミナル整備の概要



新貨物ターミナルイメージ



貨物列車

## ●整備概要

沼津駅付近の鉄道高架化に伴い、沼津駅周辺にある現在の貨物駅の機能を、原西部地区へ集約・移転します。

施工面積：約11.8ha

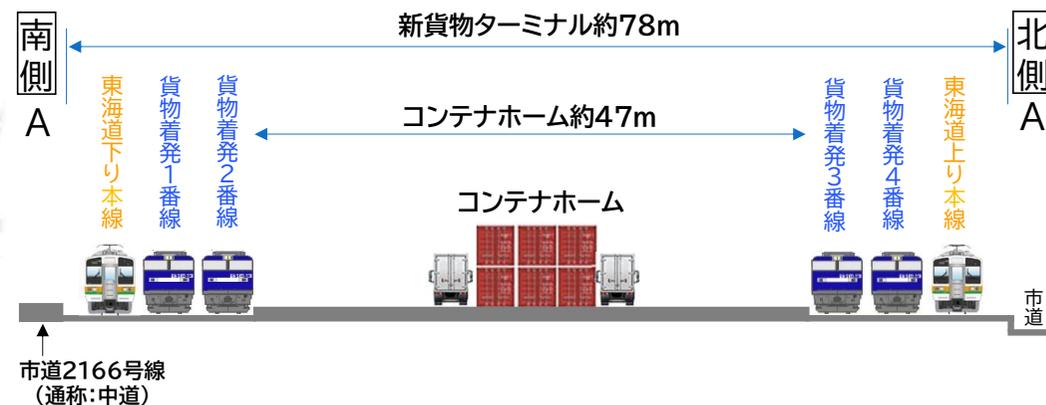
延長：約2.1km

鉄道施設：コンテナホーム、コンテナ置き場、上り着発線2線、下り着発線2線、駅本屋、混載仕分け所 他

周辺整備：緑地・調整池、東西道路、鉄道横断(アンダー)道路、他



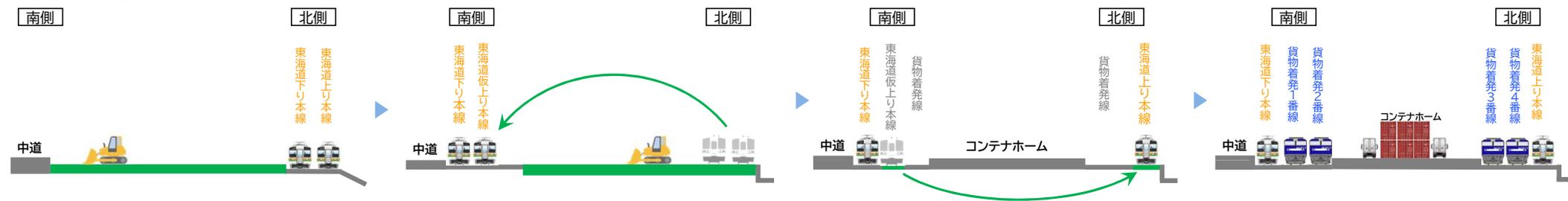
## ●計画横断面図



## ●計画平面図



## ●施工手順



### ステップ1(現東海道本線の南側を施工)

- 現在の東海道本線の南側で、ターミナル敷地の造成や線路をまたぐ進入路、一本松アンダー道路、排水路等を整備します。
- 東海道本線下り線と仮上り線を整備します。
- 隣接する調整池や周辺道路を整備します。

### ステップ2(東海道本線上下線を南側へ切替)

- 東海道線を南側に切替え、引き続き、一本松アンダー道路や排水路の工事をします。
- 東海道上り本線やコンテナホーム、着発線等、貨物ターミナルの機能を整備します。
- 引き続き周辺道路を整備します。

### ステップ3(東海道上り線を北側へ切替)

- 東海道線上り本線を北側に再度切替えます。
- 仮上り本線の跡地を含め引き続き電気設備や、着発線等、貨物ターミナルの機能を整備します。

### ステップ4(完成へ)

- 貨物ターミナルとしての機能が整備され、供用開始となります。